

平成22年度 府立金岡高等学校 学校評価報告書

1 めざす学校像

克己の心を持ち、たくましく未来にはばたく人間性豊かな生徒の育成をめざす。そのために、教職員が一丸となって、一人ひとりの生徒にきめ細やかに対応し、生徒たちが「入学してよかった」と思える学校づくりを進める。

2 本年度の教育目標

- 1 挑戦しようとする生徒を育てる。(学習指導、進路指導)
- 2 地域から支持される生徒を育てる。(生徒指導)
- 3 金高文化を創造し、生徒の活動の成果を積極的に発信する。

3 本年度の取組計画及び自己評価

領域	具体的な取組計画 [平成22年4月 記入]	取組状況の自己評価	今後 進めたい取組み
(1) 学習指導等	<p>○学習指導の改善 (授業評価システムの構築)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 授業アンケートの実施 (2学期中間まで) ② 授業互見の実施 (2学期中間まで) ③ 保護者向け授業公開 (11月) ④ 学校教育自己診断 (11月) <p>○進路指導の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自学自習支援 (補習・講習、夏季休業中の自習室確保など) を積極的に推進。勉強合宿、キャンパス見学の充実、特別模試、補習・講習のさらなる充実。 ② 進学実績の向上 関大(4)・近大(49)他 H21 比で進学実績を向上。 	<p>○学習指導の改善 (授業評価システムの構築)</p> <p>確実に前進していると判断している。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 2学期末までに授業アンケートを実施。 ② 初任者・異動者に対して授業を公開。 ③ 保護者向け授業公開では48名の保護者が来校。 ④ 生徒評価で、「授業の分かり易さ」「教え方に工夫あり」に対する否定的回答がそれぞれ 25.6%、24.8%。 <p>○進路指導の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 自学自習支援は充実。土曜講習も制度化できた。 ③ 12月段階で近大合格者数は22で昨年度並み。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今年度より新たに実施した読書感想文コンクールをさらに充実させたい。 ・授業アンケート未実施者は年度末までに実施。 ・公開授業来校者数の増を図りたい。 ・否定的回答を小さくするために、より一層指導の充実に取り組みたい。 ・進路実現に向けての HR の充実。
(2) 生徒指導等	<p>○生徒指導の充実 ・ 全教職員による指導</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 頭髪・服装他の指導の徹底 ② 遅刻指導 3年連続減少傾向にある全遅刻合計数及び朝の遅刻数(12月現在までの数：H21ではそれぞれ5585、1633)を減少させる。 <p>○部活動の活性化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 8年連続の部加入率の増大 (H21 64%) ② 部活動間の切磋琢磨 <p>○生徒の学校評価向上に向けた取組 (学校教育自己診断)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 学校生活の満足度 (H21 69.9% (肯定)) の上昇 ② 授業の満足度 (H21 33.6% (肯定)) の上昇 	<p>○生徒指導の充実</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 頭髪②遅刻指導ともに、1年生は徹底できたが、2、3年生は不徹底となった。特に全遅刻合計数及び朝の遅刻数(12月末現在までの数)が、H22ではそれぞれ6736、1924と増え、残念な結果となった。 <p>○部活動の活性化</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 8年連続はならなかったが、62%の加入率を堅持。 ② 部活動間の切磋琢磨は戦績から判断して充実 <p>○生徒の学校評価向上に向けた取組</p> <p>学校生活の満足度・授業満足度が、67.8% (肯定)・34.3% (肯定) で、H21 と比べほぼ横ばい。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・校門での指導、遅刻指導等の充実を図り、遅刻の減少をめざしたい。 ・1年生対象のクラブ紹介の充実、体験入部の推進で加入率の増加を図る。 ・部員たちによる挨拶の励行。 ・授業の工夫と充実。
(3) 学校運営等	<p>○PTAとの連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・金岡祭、交通安全指導等への積極的な参加協力の要請 <p>○中学校等に、学校教育活動を積極的に発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・全教員による中学校訪問、学校説明会、広報誌の発行等 <p>○自治連合会との連携を推進</p> <p>○学校Webページの充実 (更新等)</p> <p>○吹奏楽部の地域での演奏、「金高カップ」(バスケットボール)アンビシャスカップ (女子バレー) の開催等、部活動・生徒会活動を通じた地域への貢献など</p>	<p>○PTAとの連携 及び 中学校等への学校教育活動の積極的な発信は予定とおり達成できた。</p> <p>○自治連合会との連携を推進</p> <p>金岡校区自治連合会に出席。幼・小・中・高及び地域との情報交換を行い、金岡高校の状況を説明。</p> <p>○HP担当者の努力で、昨年以上に充実。</p> <p>○吹奏楽部の地域での演奏5回実施、ミニバスクリニック 11/28 実施「金高カップ」3/27、28 実施予定 (バスケットボール)、アンビシャスカップ (女子バレー) 12/23 実施等、部活動を通じ地域へ貢献する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・金岡祭等、具体的な取組みへの、保護者が参加しやすい場の設定。 ・部活動を通じて中学校との交流。 ・部活動の地域への派遣活動。活動実績の伝達。
(4) 追加項目			

4 学校教育自己診断における結果と分析

[平成22年11月 実施分]

*実施対象 (教職員・生徒・保護者)

平成22年度は生徒のみを対象に実施した。
回答率94.7%。設問13問の中から主なものを下記にまとめる。

設問「学校生活に満足しているか」 肯定的回答 67.8%
学年が進行するとともに増大する傾向が見られる。

設問「授業はわかりやすい」 否定的回答 25.6%

設問「授業では教え方にさまざまな工夫がなされている」 否定的回答 24.8%
高度な内容を一方的に教授するだけでなく、多様な生徒の能力に応じた指導法も工夫研究しなければならない。

設問「進路に関する情報は十分提供されている」 肯定的回答 58.2%
H22年度比4.5ポイント減少したが、第3学年ででは71.9%であり、自己の進路が強く認識されるに連れて肯定的回答が高くなっている。

設問「学校の生徒指導の方針は納得できる」 否定的回答 26.5%
全教職員が一致した共通理解のもとで、学校の指導方針を生徒・保護者に理解してもらうような取組みが必要である。

設問「この学校ではいじめは見られない」 否定的回答 11.9%
この数値を重く受け止めたい。深刻な問題を抱えている可能性もあり、生徒たちの小さな変化も見逃さず、生徒がいじめを受けることも、加えることもない学校をめざしていきたい。

設問「この学校では部活動が活発である」 肯定的回答 74.9%
H22年度比1ポイント減少。部活動は本校の大きな特色の一つであるので、この数値が増大するように多方面から振興する方策を講じたい。

5 学校協議会における提言内容

*実施日 第1回 (10/27) 第2回 (2/28)

*委員構成 (敬称略)
首藤 保 (近畿大学教授)、福田勝幸 (堺市立金岡南中学校長)、間吾敏治 (金岡町自治連合会副会長)、岸本加代子 (本校PTA会長)、野上美智子 (本校後援会会長)

*内容

第1回 (10/27 実施)

- ・教員同士で互いに授業を見学する機会が少ないのではないか。
- ・授業アンケートの取り方として、点数評価を取り入れてはどうか。
- ・「自己診断」の結果から、授業のわかり易さや工夫について、学校の努力が窺える。
- ・在校生を学校のPRに活用するのが良い。
- ・旗を立てる (学校独自の特色を打ち出す) が必要。
- ・自転車通学のマナーが依然として良くない。
- ・部活動に熱心な生徒の進路実績を中学校にアピールするのが良い。
- ・挨拶のできない生徒がいるのが気になった。

第2回 (2/28 実施)

- ・1年次から進路に対するモチベーションがアップするように工夫する必要あり。雰囲気づくりをどのように図っていくか。
- ・金岡高校が進むべき道、スタンスを示すべき。どこに特徴を置くのかが大事。
- ・中学生は一般に高校のことをよく知らないなので、学校として、どのようにアピールしていくか。
- ・明るくあいさつできる生徒を育ててほしい。
- ・サッカー等を校外で小中学生に指導する機会をもってもらいたい。
- ・子どもが金岡高校を選択する大きな理由が部活動である。部活動を学校のアピールポイントにするのは非常に効果的であり、生徒の口コミは結構大きな力となる。